

令和3年度 事業計画

世界は、今歴史的危機に直面しています。新型コロナウイルス感染症は、世界規模に拡大し、その影響は人の生命や生活だけでなく、経済・社会・国際政治・経済秩序さらには人の行動・意識・価値観など多方面に波及しています。

時代の大きな転換期に入り、それに伴う組織の変革を求められています。新しい生活様式や新たなビジネスが動き出し、デジタル化・活用に急激に向かっています。業種、世代の人々が雇用を護り、創意工夫し新生を目指しています。

センターとしても、今までの考え方では限界があります。これからは「生きがいからやりがい」 ”人あり・技あり・心あり“ の原点に戻り、魅力あるセンターとしてセンターも再出発していく必要があります。会員役職員全員で本気で仲間の拡大に取り組みます。会員拡大と就業開拓は両輪です。働き方の多様化に応じた人材育成の在り方が求められ、新規事業への積極的取り組みが必要です。個々の事情に応じた柔軟な働き方を選択でき、一人一人の労働生産性を高めていくことこそが必要です。人生100年時代が見据えられる中、フレイル対策(※)としてのシルバー人材センターの活用も注目されています。

地域の一員として社会に貢献したいという会員と共に「地域に愛され、信頼されるセンター」を目指し歩んでまいりましたが、引き続き、“生涯現役 元気に就業 地域に貢献”のスローガンのもと、会員・役職員共に全員参加の第3次事業改革、3年目を進めてまいります。目標の達成には、組織基盤の確立が急務です。地区長を中心に役職員、地区リーダー、連絡員そして会員同士、地域の会員一人一人が手を繋ぎ絆を深める必要があります。地域班の活動が地域の活性化に繋がり、会員の退会抑止にも繋がります。そして地域ごとの会員の増強及び就業機会の拡大への取組等を確実に推進する必要があります。また、全てに安全が優先されることを第一と考え、安全適正就業の徹底、就業中の安全パトロールの継続・強化、交通事故防止のための研修会、地域懇談会を開催し、会員の資質向上を目指します。

今後とも、会員一人一人が生活に潤いを持ち、センターに関わる全ての人が「働く・学ぶ・繋がる」を意識して喜びある人生を送れるよう努めてまいります。また、それぞれの持つ知識経験を生かし「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、地域社会と連携して、センターの更なる飛躍・発展を目指します。

※ 「フレイル」とは、心身的虚弱を示し、運動するだけで健康的な生活を過ごせるという考え方から、社会参加し人とのかかわりを持ちながら生活を送る事が有効であると実証された。

令和3年度の事業計画実施に当たっては、事業改革基本方針に基づき、次のとおり推進します。

事業実施計画

1. 安全適正就業の推進

安全な就業は、センター事業の基本です。就業中の事故や交通事故を防止する上で、安全適正委員会を中心に、安全パトロールを強化します。就業に対しての安全対策がなされていない場合についての罰則を検討しているセンターも増えている中、当センターは万全な安全対策をして就業に取り組み、重篤事故に結びつかないよう個々の意識改革と就業の現場管理が必要です。

健康管理については、特定健診を含め年1回以上の健康診断の受診、自己の健康意識の啓発に努めます。また、会報等を通じて会員への安全就業の徹底、安全意識の高揚に努め、事故ゼロを目指します。引き続き「適正就業ガイドライン」を基に適正な就業に努めていきます。

2. 就業機会の確保

「臨・短・軽」の就業形態が基本であり、安全適正を意識して就業開拓に取り組みます。就業開拓する上で、不適切な就業内容や民業圧迫についても配慮し就業機会の拡大を図ります。高齢者は、高齢者なりに若年者の補佐ができます。今まで培った経験や技術を持って、これからの次代を担う若年者のサポートをしていくと捉え、支えていく就業を心掛け、地域の活性化、地域の発展に繋がるように取り組みます。

また、就業機会の拡大と会員の増強は両輪であり、福祉を中心として就業の増加も予想されることから今まで以上に女性会員の増強にも努めてまいります。

3. 会員の拡大及び就業の拡大

第2次会員100万人達成計画に基づき、地域毎に入会説明会を開催するなど地域の会員の拡充に努めます。会員の「自主自立・協働共助」の理念を再確認し、地域班の活性化を図り、創意工夫を基に会員同士の絆を深めていきます。子育て支援、親支援の「かるがも児童クラブ」は、市内2か所で運営。共働き家庭の大切なお子様をお預かりする子どもの居場所として、保護者、学校、地域のご協力をいただきながら連携して、安全第一の就業とセンター会員ならではの技術や知恵の伝承を入れ、特色あるクラブ運営をしていきます。また、保育園を中心とした子育て支援においてもより一層、真心込めた就業に努めます。介護予防・日常生活支援総合事業は、焼津市と連携

し、福祉家事援助事業を含めた福祉総合支援事業とし引き続き推進していきます。

また人手不足の介護分野にも積極的に就業を進めていきます。

高齢者活用・現役世代雇用サポート事業は、現役世代の方の労働をサポートするためのシルバー派遣事業です。現役世代の雇用環境を守るためや、会員の就業を確保し、就業の適正化を図るための手法として取り組んでいきます。

これら事業は、地域の発展、焼津市の活性化に寄与していくものですので、行政をはじめとして関係機関と連携してご理解ご協力をいただきながら進めていきます。

4. 奉仕活動

地域班の構築により、地域ごとの奉仕作業を進めていきます。会員の利便性を含め住んでいる地域の環境美化等の奉仕作業は、会員相互の交流を深める場、事業改革の一環としてセンターの存在と活動を広くアピールし、働くだけでなく潤いのある組織をめざし、地域貢献に努めていきます。

5. 事業改革の推進

「生涯現役、元気に就業・地域に貢献」のスローガンを掲げて、第3次事業改革が6年計画の3年目となります。ポイントカード制度も定着し、会員さんによる口コミによる会員募集も成果が出ています。引き続き、会員、役職員全員で会員の増強や就業開拓等に取り組んでいきます。下記の項目ごとに検討して、自主自立の安定的な運営ができるよう実施してまいります。

事業実施項目

- ・会員を増やす。
- ・就業機会を増やす。
- ・安全就業の徹底。
- ・事業の活性化。
- ・広報活動の充実。
- ・地域に貢献。
- ・事務局体制の強化。